

# 文明の移行について

古い文明が崩壊し、  
新しい文明が生まれる。  
古い自我をもつ人が去り、  
新しい神人意識をもつ人が残る。

# アセンションとは、何が起きるのか

参考なわふみひと氏

1. 現代の物質文明は間もなく終わりを迎え、地球と人類はサナギが蝶に変わるように、次元を替えるらしい。ホモサピエンスが地球という学校を卒業する。(いつおきても不思議ではない)。
2. 現代の物質文明が終わり、精神が優先する時代になる。それは、宇宙の周期でそのように定められているためである。
3. 「卒業」に至るまでは、聖書などの預言にもあるような「終末現象」(地震や洪水などの天災、および戦争や内乱・テロなどの人災)が起きる。
4. 「終末現象」は地球が素晴らしい世界(次元)に移行するためには避けることのできない「産みの苦しみ」である。

5. 人類はここで卒業組と落第組に分けられ、卒業組のみが次元上昇した新しい地球の上で暮らすことになる。

6. 落第組、つまり、新しい地球の次元に波長を合わせられない人間は、肉体を離れて、その魂にふさわしい惑星へと転生するようだ。

7. どのような人間が次元上昇するのか？物質世界で身につけた煩悩(金銭欲、色欲、名誉欲など)から心を解き放つことができた人。

8. 新約聖書や日月神示などでは、「ふだんつかう言葉と、食べ物、心の持ち方」が重要であるといっている。

# 増える地球の異変

この地球の異変は今後ますます強まると見られています。2004年ごろから始まった地球の浄化現象はこれからがいよいよ本番を迎えます。いま、地球が悲鳴を上げ、人間本位社会の歪みが吹き出しています。これは人間で例えれば病気の症状と同じです。

人類の意識が作り出した地球の病気が全快するために、経過しなくてはならないステップなのです。全快した地球は、よたよたした哀れな姿ではなく、光り輝く健康体となります。その地球に住むことのできる人間も、新しい意識に次元アップした新人類です。

人類はこれからさまざまな「産みの苦しみ現象」を実体験することになります。苦しみの程度は人の心の状態によって違ってきます。エゴの強い人、気づきの少ない人ほど、大きな苦しみを味わうことになるでしょう。各予言の示すところによると、その苦しきは「先に死んだ人をうらやましく思うほど」であるといえます。

# どういう人が次元上昇できるのか

- 自分が肉体だけでなく、魂であるという自覚をすること  
(魂は「生き通し」です、ですから「永遠」なのです。⇒ これに気が付くことです)
- 個人のレベルでいえば、心と、魂をきれいに磨くこと
- 自分の欲望ばかり追求するのではなく、  
多くの人と分かち合うこと
- 日常のなかに楽しみを発見して、感謝して暮らすこと
  
- 広く動植物を慈しみ、その生態系をまもること
- 日光、空気、水、食物に感謝して、  
自他の生命と人格を敬うこと(自然を敬う)
- 悪い想念で汚した地球を元に戻すこと。  
これ以上環境を汚さないこと

参照

≡ 脱原発・脱被曝の価値観